

令和5年度 渡島公立学校教頭会 基調報告

「未来を切り拓く力を育む
魅力ある学校づくり」

～教職員の資質向上や職務意識の高揚を図る教頭の役割～

令和5年11月18日（土）

渡島公立学校教頭会 研究担当
福島町立福島小学校 玉野 悌司

<令和5～7年度の研究推進計画>

渡島公立学校教頭会 研究推進ロードマップ 2023～2025 《ゴールの姿をイメージ化》

【研究主題】 「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」 —教職員の資質向上や職務意識の高揚を図る教頭の役割—

令和二年度～令和四年度までの研究成果が土台
 「共通取組シート」による具体的な実践の成果
 (↓子どもの学びの保障、組織の活性化)
 ①ICT機器の活用 ②異校種間、学校間との協働性 ③家庭・地域との
 組織的な連携 ④学校組織の活性化 ⑤働き方改革との関連性
継続性
関与性
協働性



【視点1】教職員の資質向上を図るための教頭の役割

《研究の立ち上げ》	《実践の積み上げ》	《研究の仕上げ》
<ul style="list-style-type: none"> 研究主題の設定 研修計画の立案 「共通取組シート2023」 各市町での実践スタート 単位教頭会での交流、協議、整理 ブロックでの交流、協議 渡公教研究大会 成果と課題の整理 	<ul style="list-style-type: none"> 各市町の実態把握と実践収集 視点1についての課題把握と改善点等の分析 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <キーワード> ・専門性 ・教員育成指標 ・授業力 ・保護者や地域への対応力 ・研修 ・ICT活用 ・ミドルリーダー </div>	<ul style="list-style-type: none"> 視点2についての課題把握と改善点等の分析 成果の分析、まとめのデータ化 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <キーワード> ・職務意識 ・創造性 ・コンプライアンス ・危機管理意識 ・課題意識 ・学校運営参画意識 </div>
実態把握・実践交流	課題把握・改善点分析	課題解決・実践の充実

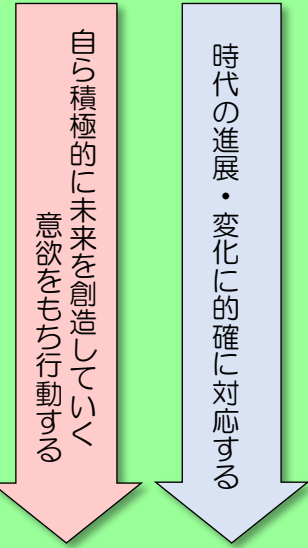
【視点2】教職員の職務意識の高揚を図るための教頭の役割

主な社会背景 技術革新、グローバル化、人工知能の進化、高度情報化社会の到来
 「生活の質的变化に対する対応力の育成」

Goal

全国統一研究主題

未来を切り拓く
 力を育む
 魅力ある学校
 づくり



生きる力

<今年度の研究推進>

○実態アンケートの実施

○各校での実践を記録

○実践を各市町で交流

○ブロックで交流

○渡島全体で交流

<今年度の研究推進>

渡公教「共通取組シート2023」

2023渡公教「共通取組シート」兼「実践のまとめシート」 学校名:()

【研究主題】 「未来を切り拓く力を育む **魅力ある学校づくり**」
～教職員の資質向上や職務意識の高揚を図る教頭の役割～

【視点1】教職員の資質向上を図るための教頭の役割

【研究の重点】 ○教職員の 力量の向上 につなげる 校内研修体 制づくり	各校の実践内容 キーワード: 教員育成指標にある専門性、授業力、保護者や地域への対応力、ICT活用能力、研修体制	
	○成果	●課題

【視点2】教職員の職務意識の高揚を図るための教頭の役割

【研究の重点】 ○教職員の 協働体制作 りと、学校運 営への参画 意識の高揚	具体的な自校の取組内容や体制 キーワード: 教職員の学校運営参画意識の高揚、コンプライアンスや危機管理意識の向上、学校段階間連携を通じた教職員の課題意識の高揚、職務意識の高揚と創造性を発揮させる体制づくり	
	現状における課題等	具体的な解決策

＜今年度の研究推進＞

渡公教「共通取組シート2023」兼「実践のまとめシート」について

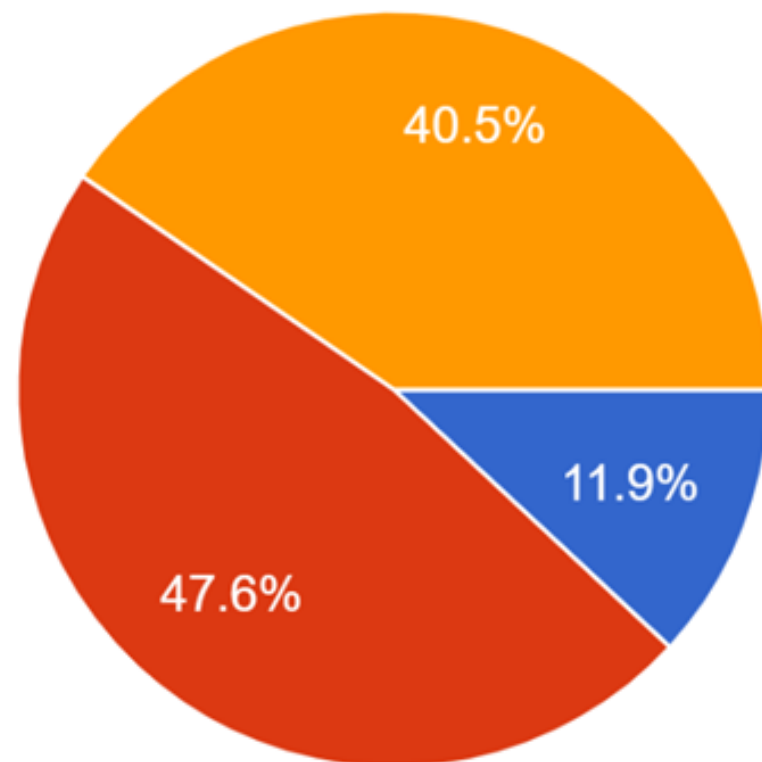
- (1) まずは、各学校における実践内容を実践の都度記録**
- (2) 「いつ」「だれが」「どのように」行った実践かがわかるように**
- (3) 「研究や取組のポイント」について、自校の実践等を書き込む**
- (4) 各学校の実践→各市町で交流→渡公教で交流**

**実態アンケートで
課題が浮き彫りとなったもの**

<研究の方向性>

(8) 教職員の学校段階間連携を通じた課題意識

42 件の回答



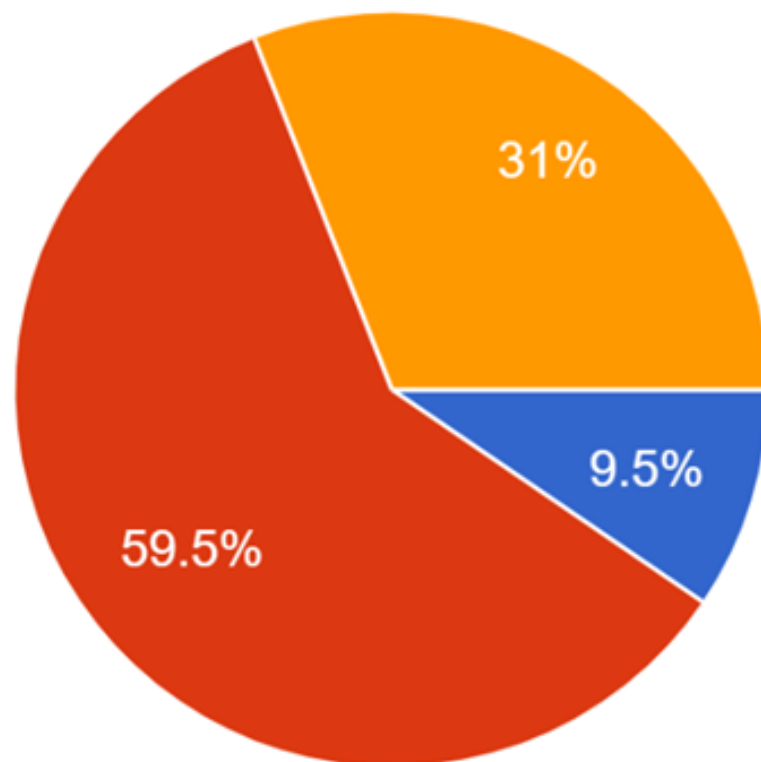
- 1.満足できる
- 2.まあまあ満足できる
- 3.あまり満足できない
- 4.満足できない

**40.5%が
「あまり満足できない」**

<研究の方向性>

(9) 教職員が創造性を発揮する体制

42 件の回答



- 1.満足できる
- 2.まあまあ満足できる
- 3.あまり満足できない
- 4.満足できない

**31%が
「あまり満足できない」**

<研究の方向性>

アンケートから見える課題（全体の傾向）

（8）教職員の学校段階間連携を通じた課題意識

- ①連携組織ができていない
- ②形だけの連携になっている
- ③連携をする時間がない
- ④連携の意義を見出せない
- ⑤成功例を知らない

<研究の方向性>

アンケートから見える課題 (全体の傾向)

(9) 教職員が創意工夫を発揮する体制

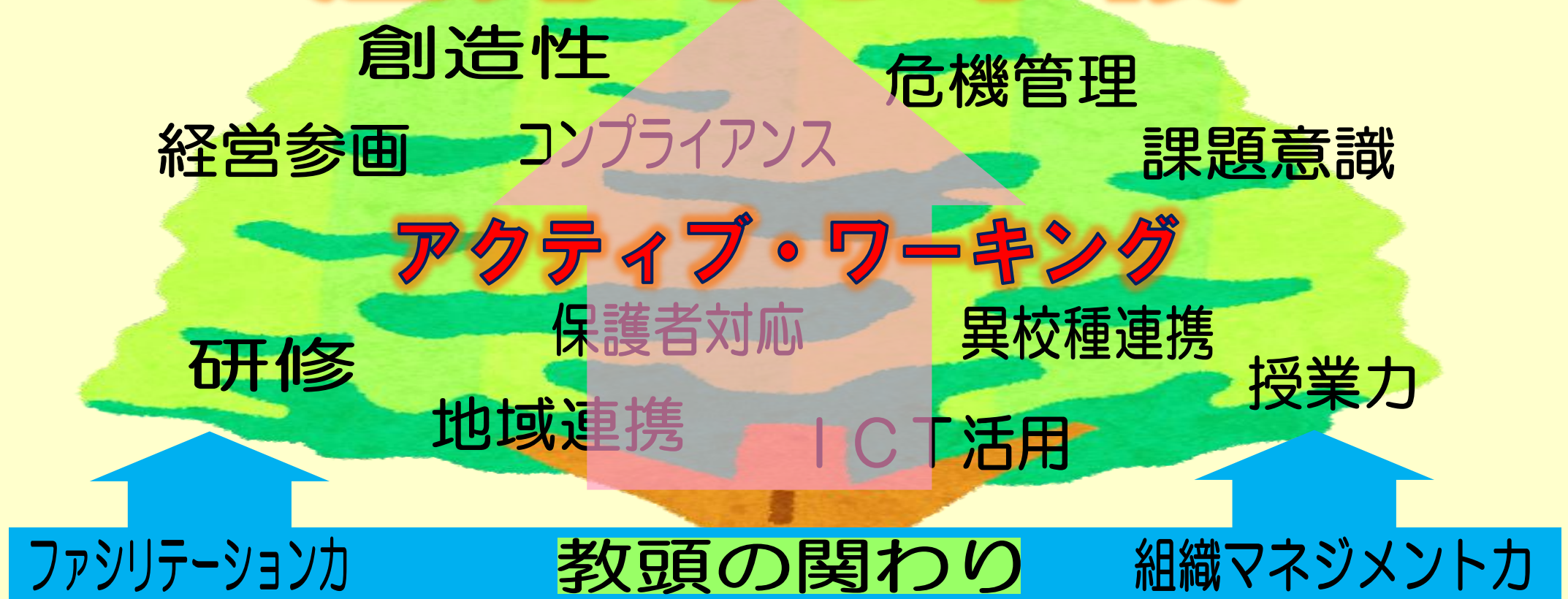
- ①業務のルーティン化
- ②変化への抵抗感
- ③創造＝手間 という意識

<研究の方向性>

【共通すること（教頭の役割）】

教職員のネガティブな思考を
ポジティブに変換していく

魅力的な学校



心理的安全性が担保された職場

今後の取組

- 学校ごとの課題を把握し、課題を共有している学校同士で情報交流しながら課題を解決していく。
- 各校での良さを伸ばすことができた事例を共有し、実践していく。

⇒ 「共通取組シート」での実践の共有